

学校教育目標

よく考えて実行する杉本小の子
健康でたくましい杉本小の子
思いやりのある杉本小の子



海老名市立杉本小学校



学 校 便 り

令和7年7月18日

校長 奥泉 憲

Ⅰ学期終了 子どもたちの 成長の軌跡

今日、子どもたちに学級担任から「あゆみ」が手渡されます。通信票の「あゆみ」という名称には、2つの想いがこめられています。「歩く」ということと、「歩む」ということです。

1つ目の「歩く（あるく）」とは、一人ひとりが自分の力で一歩ずつ進んでいくという意味です。自分自身の力で「一歩一歩努力しながら成長する」とことと言い換えられるかもしれません。今回の「あゆみ」には、子どもたちのそんな成長した姿がたくさん書かれています。

『毎朝、小さな声ではありましたが、自分から「おはよう」とあいさつをすることができるようになりました。』

『体育のマット運動では、友だちからアドバイスをもらいながら黙々と練習に取り組み、壁倒立を見事完成させました。』

『1年生とのかかわりでは、牛乳パックの開き方を動画にして、音声を入れるなど工夫して伝えていました。』

『国語「一つの花」では、何度も音読をして主人公の気持ちを深く理解し、お父さんが1輪だけの花を渡したのは、一人だけのお父さんを忘れないでほしいという願いが込められていると考え、クラスの皆に伝えていました。』

2つ目の「歩む（あゆむ）」ということは、仲間や友だちと足並みを揃える、歩調を合わせるという意味です。クラスの仲間と「かかわりながら成長する」とことと言い換えられるかもしれません。

『そうじの時間は、自分の分担が終わると友だちの仕事も進んで手伝っていました。』

『体育の時間、跳び箱が跳べなくて何度も練習している友だちに「がんばれ」とたくさんの声援を送っていました。』

『野外教育活動では、「人前に立つのは苦手だけど挑戦したい」と実行委員になり、友だちと協力してスローガンを決め、司会進行の仕事などにも積極的に取り組みました。』

『給食時、配膳室前で、他のクラスに順番を譲ってもらうと丁寧に礼を伝え、また、待っているクラスには「お待たせしました」と声かけをすることができます。相手への心遣いとその気持ちをしっかりと伝えようとする姿勢が立派です。』

今回の「あゆみ」には、子どもたちが友だちと協力し、かかわり合う中で成長できたこともたくさん書かれています。

今日、各ご家庭でも、「あゆみ」を開きながら、是非、子どもたちがこの1学期に、「努力できたこと」「協力できたこと」を、たくさんほめてあげてください。そして、夏休みに心と身体をたっぷりリフレッシュして、また2学期に元気に登校してくれること願っています。

今学期も本校の教育活動へのご理解ご協力ありがとうございました。

学校長 奥泉 憲